

事業所における自己評価結果

公表：令和5年6月6日

評価項目	はい	いいえ	理由や改善すべき点を記載してはならない
① 利用者が指導訓練受等スペースとの関係で適切である	○	○	
② 職員配置数は適切である	○	○	
③ 生活空間は、本人に合わせた機材が整備されている。また、職業活動に応じた、事業所での準備や、バリアフリー化や情報通信等の配慮が適切に行われている	○	○	
④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○	○	
⑤ 就業改善を進めたいが、DCAサイト（日報設定）の活用が十分にできている	○	○	
⑥ 就業改善の取り組みにより、保護者等に対して事業所の研修を実施するとともに、保護者等への研修を実施し、就業改善を行っている	○	○	
⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、今後の改善に必要な業務の推進や改善の方向性を、事業所の会議やホームページ等で示している	○	○	
⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を就業改善につなげている	○	○	
⑨ 職員の専門性の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	○	
⑩ アセスメントを適切に行い、子ども達や保護者のニーズやニーズを踏まえた上で、児童発達支援計画を作成している	○	○	
⑪ 子どもの進捗や行動状況等を踏まえて、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	○	
⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供を受ける児童」の発達支援（本人主体及び併用支援）」、「地域支援」、「地域連携」を示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○	○	
⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	○	
⑭ 活動プログラムの立案チームで行っている	○	○	
⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	○	
⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	○	
⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	○	
⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	○	○	
⑲ 日本の状況に照らして、記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	○	
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しが必要性を判断している	○	○	
㉑ 児童発達支援事業所のサービス評価委員会にその子どもの状況に精通した専門人材が参加している	○	○	
㉒ 母子保護者や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	○	
(医師のケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの支援に関する場合) 地域の保健、医療、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	○	
(医師のケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもも支援している場合) 子どもの生活圏内での関係機関等と連携し体制を整えている	○	○	
㉓ 併行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を促している	○	○	
㉔ 併行支援として、小学校や特別支援学校（小学校）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を促している	○	○	
㉕ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	○	
㉖ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、種々の関係する機会がある	○	○	
(自立支援) 協議会や地域の子育て支援会等へ積極的に参加している	○	○	
㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	○	
㉘ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の支援を行っている	○	○	
㉙ 連絡網、利用費負担等について丁寧な説明を行っている	○	○	
㉚ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供を受ける児童」の発達支援（本人主体及び併用支援）」の内容が、児童発達支援計画の内容の作成を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を仰いでいる	○	○	
㉛ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じて、必要な助言と支援を行っている	○	○	
㉜ 父親会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	○	
㉝ 子どもや保護者からの相談に介入し、対応の助言や指導を行うなど、子どもや保護者、関係機関と連携し、相談や介入があった場合に迅速かつ適切な対応している	○	○	
㉞ 定期的な会議等を開催し、活動調整や行事予定、連絡調整等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	○	
㉟ 個人情報等の取扱いに十分注意している	○	○	
㊱ 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	○	
㊲ 事業所の行事に地域住民が招待される等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○	
㊳ 基本情報に二つあり、対応に二つあり、相談対応マニュアル等を制定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	○	
㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出の必要な訓練を行っている	○	○	
㊵ 事業所、施設や子育て支援、ていかなり等での対応策を明確にしている	○	○	
㊶ 食育メニューのある子ども達に対して、医師の協力を得て対応がされている	○	○	
㊷ とらびのり事業を実施して事業所で共有している	○	○	
㊸ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	○	
㊹ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、明確に定め、子どもや保護者、事業所に十分に説明し理解を得て、児童発達支援計画に記載している	○	○	

○この事業所における自己評価結果（公表）は、事業所全体で行った自己評価です。